

吉小だより

学校通信 第5号
平成29年7月20日

吉浜小学校の目指す子ども像

自分の言葉で語ることのできる子

- よく聞き、よく考え、よく語る子
- 主体的に活動できる子
- 感謝する心をもつ子

蒸し暑い日が続いていますが、学校では子どもたちの元気な声が、毎日あちらこちらから聞こえてきます。先週の火曜日からの懇談会には、お忙しい中ご来校いただき、誠にありがとうございました。お子さんの頑張っていることや伸びていること、今後の課題などについて、担任からお伝えしました。また、保護者の方からは、ご家庭での様子や学校へのご要望などをお聞きすることができました。今後も子どもたちの健やかな成長を願い、学校とご家庭相互の連絡を密にして取り組んでいきたいと思っております。

さて、明日から夏休みです。長い休みを利用して、子どもたちが普段できないことにも挑戦し、また一つ大きく成長した姿を9月に見せてくれることを期待しています。事件事故には十分注意して、元気に夏休みを過ごしてくれるようお願いしています。

高浜市小学校水泳大会 7月6日(木)



強い日差しが照りつける中、高浜小学校のプールサイドに市内全小学校の5年生が集まり、小学校水泳大会が開催されました。吉小からは、各学級の選手たちが、学年全員による大きな声援を受けながらがんばって泳ぎ、練習の成果を十分に発揮することができました。また、オープン種目にも、男女合わせて70人の児童が参加し、自己記録の更新を目指しました。吉小の子どもたちは、競技はもちろん、選手紹介の際の大きな声での返事や、全員で息を合わせた応援など、プールサイドでも大変すばらしい姿を見せていました。水泳大会を通して学んだことを、明日からの緑の学校に生かしてほしいと思っております。各種目の入賞者と標準記録突破者を紹介します。7月20日(木)の全校集会で表彰しました。

<水泳大会 入賞者> ◎は記録賞も受賞しています。

- ・女子100mリレー
第1位 ◎1組 1分18秒1 神谷 夢、岡本 碧優
糟谷 香林、藤井 咲楽
- ・男子100mリレー
第2位 ◎2組 1分19秒6 神谷 優季、杉浦 悠真
田原 利短、小栗 颯太
第3位 ◎3組 1分21秒0 ハシバ グスタボ、大西 晴也
三木 聡太郎、伊藤 颯悟
- ・男子25m自由形 第1位 ◎伊藤 颯悟 18秒7
- ・男子50m自由形 第1位 ◎神谷 優季 39秒6
- ・男子50m平泳ぎ 第1位 ◎酒井 堪台 54秒4
- ・女子25m平泳ぎ 第1位 ◎吉永 小梅 26秒5
- ・女子50m平泳ぎ 第1位 ◎糟谷 香林 50秒1
- ・男子25m平泳ぎ 第2位 ◎大西 晴也 27秒5
- ・女子50m自由形 第2位 ◎中川 日和 42秒2
- ・男子25m自由形 第3位 ◎杉浦 悠真 19秒2
- ・男子50m自由形 第3位 ◎ハシバ グスタボ 41秒9
- ・女子50m自由形 第3位 ◎藤井 咲楽 42秒4

<水泳大会 記録賞受賞者>

- ・男子50m自由形 小笠原 隼(46秒5)
- ・女子50m平泳ぎ 宮久保 璃佳(56秒9)
- ・男子25m自由形 宇都 颯太(21秒6)、小野木 陽斗(21秒1)、佐藤 未藍(20秒0)
福嶋 聖(21秒4)、小木曾 生弥(21秒1)、小栗 颯太(19秒6)
田原 利短(21秒6)、杉浦 正侑(21秒5)、原田 颯太(21秒4)
三木 聡太郎(21秒1)



- ・女子25m自由形 岡本 碧優(20秒9)、神谷 夢(20秒3)、川崎 凜花(22秒2)
谷口 稚奈(20秒7)、野上 琉羽(21秒1)、貞方 里菜(22秒3)
清水 怜名(22秒2)、丹羽 亜麻音(21秒0)
- ・男子100mリレー 1組(1'24"0)佐藤 未藍、小野木 陽斗、宇都 颯太、酒井 堪台
- ・女子100mリレー 2組(1'29"9)内藤 優美、井上 茜、平野 結奈、宮久保 璃佳
- ・女子100mリレー 3組(1'20"8)吉永 小梅、丹羽 亜麻音、足立 七美、中川 日和

意見発表

夏休み前の全校集会で、5年1組の女子リレーメンバーが、水泳大会を通して、思ったこと、学んだことを意見発表しました。

1分20秒のかべ

5年 ①神谷 夢 ②岡本 碧優 ③糟谷 香林 ④藤井 咲楽

1分20秒、これは去年のリレーの優勝タイムであり、私たちのもつ最高タイムでもありました。私たちは「リレーで優勝すること」を目標に、リレーの選手が決まってから、5年1組の代表として、毎日練習を頑張ってきました。私たちは練習をがんばる中で、1分20秒という最高タイムを出すことができました。ところが、他の学校はこのタイムより速いといううわさを聞きました。私たちはどうやったら1分20秒を切れるか考えました。それで、「半分のところまで息つぎしないように練習しよう」と決めました。でも、やってみるとすごく苦しくなって、とちゅうで息つぎをしてしまいました。また、あわててフライングをしてしまったり、つかれてタイムがおそくなったりして、あせる気持ちが出ました。そんな時、いちばん元気をくれたのは、声がかれるくらい応えんしてくれた仲間や、プールのいちばん近くでタイムを計ってくれた先生の「がんばったね」という言葉でした。けっきょく、このタイムのまま当日がやってきました。

水泳大会当日、私たちの順番はあつという間にきました。私たちは今までやってきた練習と仲間を信じるしかないと思いました。ピ、ピ、ピ、ピピーという笛で選手が水に入ったしゅんかん、さわがしかったプールサイドはだれもいなくなったように静かになりました。心ぞうの音だけが、大きくドクンドクンと鳴り始めました。パンとピストルが鳴ると、夢ちゃんはいきおいよく泳ぎ出しました。と同時に、吉小の大きな大きな応えんがひびきわたりました。次はいよいよ私の番です。水の中に入ると、私の心ぞうは応えんに負けないくらい大きな音で、ドクンドクンと鳴っていました。待っている間、今までの練習や仲間の顔が頭をよぎりました。

最高のバトンパスを。私は碧優ちゃんの手だけ見つめて集中しました。タッチしたらすぐに私の体が動き始めるのが分かりました。私はただただ、必死に泳ぎました。みんなの応えんにおされて、体がぐんぐん進んでいくのを感じました。練習の時から意識していた、半分くらいのところまで息を吸わないというの、まったく苦しくありませんでした。「他のチームに勝ちたい」という思いよりも、「今までで最高の泳ぎをしたい」という気持ちで、がむしゃらに泳ぎました。ゴールして横を見ると、まだだれもいませんでした。1分18秒、私たちは今までの最高記録よりも2秒も速くゴールできました。「1位吉浜小学校5年1組」賞状をもらった時、先生や仲間が泣いているのが見えました。

私はなぜ2秒もちぢめることができたのだろうかと考えました。勝因は二つではないかと思えます。一つは努力をすれば自分をこえられるということです。リレーだけでなく、今回出場した吉浜小のほとんどの子が、水泳大会当日に自己ベストを出せました。毎日休まずにがんばったからだと思います。もう一つは、いろいろな人の支えがあったからだだと思います。私たちの周りには、「がんばろうね」とはげましてくれる仲間や、人の結果を自分事のように喜んでくれる仲間がいます。そんなすてきな仲間がいっぱいの、吉浜小はあいさつやマナー、応えんでも1位でした。だから、このトロフィーはみんなでつかみとったものだと思います。私たちをおう応えんしてくれたすべての人たちに感謝しています。そして、ここで学んだ、努力の大切さや仲間の存在の大きさを、次の緑の学校につなげていきます。

少年の主張大会

7月8日(土)



第34回高浜市少年の主張大会が、いきいき広場ホールにて開催されました。市内の小中学校、高校の代表が、今、自分が考えていることについて発表しました。吉浜小学校からは、6年の都築由衣さんが「大切にしたいおばあちゃんの思い」という題で発表しました。おばあちゃんの話から障がいのある方々の気持ちを知った都築さんは、障がいを乗り越えて、強く生きようとしている人たちを応援したいと思いました。そして、自分にできることは、障がいのある人に優しく声をかけること、いろいろな人に障がいのある人の気持ちを伝えていくことと考えました。障がいのある人もそうでない人も、仲よく充実した生活を送ることができる社会になるように、これから実行していきたいと結びました。



